

令和2年度 岐阜県美術館 美術品等収集委員会 議事録

日時	令和2年11月17日(火) 午後1時30分～3時30分
場所	岐阜県美術館スタジオ、展示室、ホール、講堂、特別応接室
出席者	<p>(委員)</p> <p>雪山行二 富山県美術館館長          村田眞宏 豊田市美術館館長          山田美佐子 稲沢市荻須記念美術館館長          矢橋龍宜 矢橋ホールディングス株式会社代表取締役社長          田口義隆 セイノーホールディングス株式会社代表取締役社長          高橋明也 美術史家、前・三菱一号館美術館館長          佐治ゆかり 美術史家、前・郡山市立美術館館長</p> <p>(事務局)</p> <p>日比野克彦 岐阜県美術館館長          大城戸克之 岐阜県美術館副館長兼総務部長          正村美里 岐阜県美術館副館長兼学芸部長          青山訓子 岐阜県美術館学芸課長          他 岐阜県美術館学芸部職員          市橋貴仁 岐阜県環境生活部県民文化局長          有田誠二 岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課長</p>
議事内容および委員からの意見	
<p>日比野館長 開始の挨拶          市橋県民文化局長 挨拶          正村副館長 委員、事務局員紹介／進行手順説明／作品説明          ＊スタジオにて作品説明、一部作品実見のち、ホール、展示室、講堂、特別応接室にて作品説明・実見後、スタジオにて意見交換</p> <p><b>委員からの意見</b> (作品実見の最終意見)</p> <p><b>【寄贈作品】44点について</b></p> <p>・富岡鉄斎          座長 三幅対だが、三作三様で個性があって面白い。— (事務局) 単品としても展示できる。</p> <p>・高屋肖哲          A委員 とても細かく描かれている。— (事務局) 師の狩野芳崖の研究をよくしている。</p> <p>・藤田嗣治          B委員 描かれている場所は特定できているのか。— (事務局) 大体わかっている。          C委員 今までみた中でもトップクラスだ。寄贈は非常に有難いことだ。</p> <p>・三輪乙彦          D委員 二つの作品の位置関係について作家の指定はあるのか。— (事務局) 作家の指定がある。</p> <p>・陶芸作品          E委員 使いこんだ方が価値が出るということはないか。— (事務局) 美術館としては難しい。</p> <p>・染織作品          A委員 とても良い作品だ。評価額をよく検討するように。— (事務局) 了解した。</p> <p>・映像作品          D委員 所有権、著作権については事前に文書にしておくとい。— (事務局) 既に協議済み。</p> <p><b>【寄託作品】2点について</b></p> <p>F委員 寄託作品として調査するのか。— (事務局) そのとおり。          座長 以上の作品を今年度収集することとして良いか— (委員) 異議なし。</p> <p>館長 46点について収集に問題なしとご意見をいただいた。お礼申し上げます。</p>	